

皮膚科のトリビア

206

浅井 俊弥(浅井皮膚科クリニック)

<http://www.asai-hihuka.com/trivia.html>

トリビア(trivia)=3を意味するtriと+道を意味するviaでもとは三叉路の意。古代ローマで三叉路が多かったことから「どこにでもある場所」,そこから転じて「瑣末なこと」となり,今では雑学的知識,豆知識,などを意味する言葉として定着している。

本欄は,小誌・浅井編集委員が学会・研究会などで見聞きした「皮膚科のトリビア」をその都度まとめ,連載しています。ご意見等ございましたら,ぜひ小誌「声」欄までお寄せください。

●日本フットケア・足病医学会Web講演から

令和3年7月17日

下肢切断に至る患者は 年間約7,000人

レセプト・特定健診等情報データベース(NDB)を用いて検索した,足趾切断を除く下肢切断患者の総数は,2013年から2018年の5年間で34,773人で,年間約7,000人であった。別の統計では切断患者の29%が透析患者であった。大切断6カ月後の生存率は58%,切断後に歩行可能となる患者の割合は,75歳以下で53%だったのに対し,75歳以上では18%だった。

一言コメント

「以前から,皮膚科医も循環器系の疾患の知識を深め,治療にも携わる必要があるとともに血管外科との連携が大事だと感じている。むずかしい課題である。」

●横浜市医師会「医学研修の日」から

令和3年7月20日

モックアップワクチン

ワクチンは,免疫の特異性を決める「抗原システム」,免疫の強度や方向性を決める「アジュバント」,注射か粘膜投与かなど免疫の場を決める「デリバリーシステム」の3要素が重要である。モックアップとは模擬という意味で,これら3つをばらばらに作っておき(モジュール化),いざとなれば,これら

を組み合わせることでワクチンを時間をかけずに作りあげることができる。

一言コメント

「今回,史上初めて1年以内に世界規模のワクチン供給が米,英,中,露で可能になった理由の1つが,これらの国ではコロナワクチン開発がバイオテロを含む国防や外交の鍵として位置づけられたから。日本はこういった有事の対応が苦手な国である,とのこと。」

●某製薬会社主催Web講演会から

令和3年8月26日

トラマドール製剤の使い分け

トラマドール製剤は帯状疱疹関連痛の治療の第2選択薬として用いられる。製剤には以下のような4種類がある。単剤(25, 50 mg), 1日1回の徐放剤(100 mg), 1日2回の徐放剤(50, 100, 150 mg), アセトアミノフェン配合錠(1錠中に37.5 mg)。単剤は導入時の漸増がしやすい。徐放剤は慢性期への切り替えに利用しやすい。配合錠は初期の疼痛に使いやすい。単剤, 徐放剤はいずれも1日の最大用量は400 mg, 配合剤は8錠までである。

一言コメント

「1日1回の徐放剤は初回としては量が多いようで,ふらつきなどの副作用が多い印象。1日2回の徐放剤は,漸減の際に1日1回にしてよいか迷う。配合錠は急性期の疼痛に対しては適用外であることがネック。」

●横浜心不全研究会から

令和3年8月27日

心不全の新しい治療薬

心不全は検査施行時の左室駆出率 (LVEF) 評価に基づく分類が以前からなされているが、それに加えてLVEFの時間経過に伴う変化に基づく分類も示されている。

LVEFの低下した心不全(heart failure with reduced ejection fraction : HFrEF), LVEFが軽度低下した心不全(HF with mid-range EF : HFmrEF), LVEFの保たれた心不全(HF with preserved EF : HFpEF), LVEFが改善した心不全(HF with recovered EF : HFrecEF), LVEFが悪化した心不全(HF with worsened EF : HFworEF), LVEFが変化しない心不全(HF with unchanged EF : HFuncEF)に分けられる。

HFrEFではARBないしACE阻害薬にβブロッカー、ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬(スピロノラクトン, エプレレノン, エサキセレノン)を基本とし、症例によってはアンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬(ARNI), 利尿薬(フロセミドよりトルバプタン), SGLT-2阻害薬, ジギタリスなどの併用を考慮する。

一言コメント

「高齢者で両下腿の浮腫があり、ときに潰瘍化し滲出液の漏出が止まらないために皮膚科に来院する患者がある。以前から“心臓をなんとかしてもらって”と循環器科を紹介するが、なかなか改善には至らない。皮膚科もこの領域における治療の進歩についていけないといけない。」

●第85回日本皮膚科学会東部支部学術大会から

令和3年9月18日

痤瘡と多毛から多嚢胞性卵巣症候群の診断に至った症例

20歳代の女性, 肥満, 月経異常あり。皮膚症状は面皰を伴う痤瘡と全身的な多毛。CTにて卵巣に多発する嚢胞。血中アンドロゲン高値, FSH正常。多嚢胞性卵巣症候群(polycystic ovarian syndrome : PCOS)と診断した。

痤瘡, 多毛はアンドロゲン過剰による男性化の症状で, 低用量ピルの内服で改善した。PCOSはインスリン抵抗性がありメタボリックシンドロームのリスクが高く, 早期発見が重要で皮膚症状がそのきっかけになる。

一言コメント

「女性の難治性痤瘡では月経異常がないか, 多毛がないかを問診することが重要。すっかり忘れていた。」

●第85回日本皮膚科学会東部支部学術大会から

令和3年9月18日

エゴグラムパターンからみた患者指導

エゴグラムは, TA(transactional analysis)という心理学のプログラムの1つで, 世界中で使われている心理テスト。50問の簡単な質問に答えることで自分の自我状態が図表化され, 行動パターンが目に見える形で現れる。エゴグラムで定義する自我状態は, CP(厳格な父親的な部分), NP(やさしい母親的な部分), A(冷静な大人の部分), FC(自由奔放な子供の部分), AC(順応する子どもの部分)に分けられる。

ストレスを抱えやすいエゴグラムパターンは, ①ACが高い: 人への気遣いのあまりNOといえない, ②FCが低くCPとACが高い: 自由にふるまうことが苦手で自己表現できずに葛藤を溜める, ③Aが低い: 論理的に問題を解決することがむずかしく葛藤状態に陥りやすい, ④NPとFCが低く, CP, A, ACが高い: 義務感, 責任感, 批判精神が高く, 自他否定型。

患者指導への活用としては, ①CPが高い患者: 真面目で几帳面, ゆるめに指導, 皮膚病と関係ない話題など, ②CPが低い患者: 規則を守るのが不得意, 具体的に指導, 積極的な成果承認, ③Aが高い人: 合理的で分析力がある, 共同的意思決定向き, ④Aが低い人: 自分で判断するのが苦手, 治療の決定は医師が誘導。

一言コメント

「質問票をダウンロードしてみた。患者指導に使えるのだが, どんなタイミングで回答してもらうか検討中。“なんのため?”といわれそうである。」